

## 奥日光の森

奥日光は、広大な標高差と気象パターンが生み出す微気候により、多種多様な植物が生息している。東は太平洋、西は日本海からの沿岸風や気象パターン、そして内陸部といったそれぞれの気象条件の影響を受けている。

### 3つのゾーン

奥日光には、いろは坂の下部（900m）から日光白根山頂（2,578m）までの3つの植生帯があります。

#### 低層:上山地帯(広葉樹落葉樹林)

いろは坂の登り始めの馬返付近から始まり、戦場ヶ原や中禅寺湖などを含む。ミズナラなどの広葉樹の落葉樹が中心だが、ニッコウモミなどの常緑樹も見られる。

#### 中層:亜高山帯(常緑針葉樹林)

亜高山帯は、湯ノ湖の標高約 1,475m から始まります。常緑の針葉樹林が特徴的で、キタムラサキやベイツバキなどの木立が見られる。また、岳樺などの落葉樹もある。

#### 上層:高山帯(高山低木地帯)

日光白根山の山頂は、前白根山の標高約 2,400m から始まる高山帯にある。この標高では樹木は生えておらず、地面はクロウグイスやゲンノキ、キンポウゲなどの高山植物の低木で覆われている。

### 奥日光の巨樹

奥日光の大木・銘木 30 本が左の地図と図に登場しています。その中でも特に特徴的で、アクセスしやすいのが以下の 5 本である。

華厳の滝近くの華厳渓谷に枝を広げる樹齢 250 年のコレ（高さ 25m）

二荒山神社（天然記念物）の樹齢 1,100 年のイチイ（高さ 23.5m）

英国・イタリア大使館別荘記念公園近くの遊歩道沿いにある樹齢 350 年のブナ（高さ 26m）

奥日光の巨樹の "王様" 西ノコ湖の樹齢 1000 年のオオミズナラ（高さ 32.5m、周囲 6.8m）